サイバーインシデント演習 in 岡山

セキュリティの
インシデント対応を
体験しませんか？

参加費 無料

開催概要

総務省 中国総合通信局は、令和8年10月16日（金）に中小企業・団体等を対象とした「サイバーインシデント演習 in 岡山」を開催します。

近年、世界的にサイバー攻撃を起因としたセキュリティインシデントが増加し、攻撃の手法も高度化・巧妙化しており、大企業にとどまらず、中小企業に対するサイバー攻撃も増加しています。

本演習では、サイバー攻撃を受けた場合に、迅速に対応できるよう効果的にインシデント対応のノウハウを学ぶことができます。

参加に当たり、専門知識は不要です。初めての方やPCに不慣れな方でもご参加いただけます。

対応の進め方を体験しながら、明日から自社で確認・見直しすべきポイントを整理してお持ち帰りいただけます。

開催体制

主催	総務省中国総合通信局
共催	経済産業省中国経済産業局 中国地域サイバーセキュリティ連絡会 中国情報通信懇談会
後援（予定）	岡山県、岡山県警察本部 一般社団法人岡山県商工会議所連合会 一般社団法人システムエンジニアリング岡山 岡山県商工会連合会、公益財団法人岡山県産業振興財団 岡山県情報セキュリティ協議会
事務局	株式会社NTTExCパートナー

2026. 10/16 金

13:00 ～ 17:00（12:30受付開始）

会　場

TKPガーデンシティ岡山 カンファレンスルーム4J

岡山市北区中山下1-8-45 GEEKS OKAYAMA　4階

（JR岡山駅 徒歩15分）

対象者

中小企業・団体等の経営層、
セキュリティ責任者及び
情報システム運用担当者等

定　員

40名 ※定員に達し次第、受付を終了します。

CYBER INCIDENT EXERCISE

第1部

サイバーセキュリティ導入講義：最新の脅威動向と「まず誰に連絡するか」

13：00～14：00

近年のサイバー攻撃の動向や、不審メール・ランサムウェアといった身近な脅威をわかりやすく解説します。
いざインシデントが起きたとき、社内の誰に報告し、どの外部窓口へ相談すればよいか、初動対応の基本を確認します。
自社で見直すべきポイントも、併せて整理してお持ち帰りいただけます。

第2部 | 第3部

サイバーインシデント実践演習：「脅威の疑似体験と組織的対応シミュレーション」

14：00～17：00

第2部では、取引先を装った請求書確認メールを題材に、表示されたURLと実際のリンク先の違いや、偽のログイン画面へ誘導される手口を、PCを操作して体験します。

第3部では、実際に起こりうるインシデントを取り上げ、社内の誰に報告・相談し、何を優先し、取引先へどう説明すればよいかを、グループで話し合います。

専門知識は必要ありません。初めての方でも、対応の進め方を体験しながら、明日から自社で確認すべきことを持ち帰っていただけます。

講師

ビーディーラボ株式会社
サイバーセキュリティ事業部
Executive Principal

大場 健一 氏

企業・医療機関・教育機関・自治体向けに、ITインフラ、ネットワーク、クラウド、サイバーセキュリティ対策の設計・導入・運用支援を行う。
VPN、ファイアウォール、EDR、バックアップ、ゼロトラスト、Microsoft 365など、実際の業務環境に即したセキュリティ対策を得意とする。
ランサムウェア対策、情報漏えいリスク、インシデント発生時の初動対応、組織内の報告・連携体制づくりなど、技術面と組織運用面の両面から支援を行っている。
本演習では、参加者が自組織のリスクを具体的に捉え、実際の場面で適切に判断・対応できることを重視して講義・演習を進行する。

お申込み

左記二次元コード又は以下の申込URLよりお申し込みください。
https://nttexc-mk.iqform.jp/form/ie-entry12/

【申込期限】2026年10月9日(金)まで

お問い合わせ

総務省 中国総合通信局サイバーセキュリティ室
082-222-3429
chucyber@soumu.go.jp

※本イベントの申込受付及びご案内等は、請負事業者である株式会社NTTExCパートナーが行います。
※やむを得ない事情により、講師・内容を変更する場合があります。